

特別支援教育課通信 北山の陽だまり



平成29年12月発行 (第32号)

【センターのケヤキと冬の空】

あっという間に2017年が過ぎ去ろうとしています。多くの学校が22日に2学期の終業式を行い、冬季休業に入りました。先生方も、事務処理や大掃除、新しい年に向けての準備等でご多用のところかと存じます。短期間でもリフレッシュされ、エネルギーを充電し、3学期に備えていただければと思います。

さて、研修センターでは内地留学3か月長期研修生の閉講式を終えました。23人の先生方が、各教科領域において素晴らしい研究を行うことができました。成果については、研修棟3階廊下にポスターが掲示されていますので、研修センターにお越しの際には是非ご覧いただければと思います。6か月の研修生は中間検討会も終わり、研究内容や成果物などについても見通しが付いてきました。今まで賑やかだった長研生の部屋も5人になってしまい淋しくなるとは思いますが、力を合わせて頑張っていたきたいと思えます。

特別支援教育課長

【 研究発表会へ多くのご参加、ありがとうございました！ 】

12月26日の研修センター研究発表会には、年末のご多用の時期にもかかわらず800人を超える参加者があり、多くの先生方と共に研修できたことに感謝いたします。

特に教育の情報化に関する研究では、伊藤慎吾教諭（霞ヶ浦聾学校）、二本柳貴士教諭（友部東特別支援学校）、飛坂淳一郎教諭（美浦特別支援学校）の3校の先生方から「主体的・対話的で深い学びにおけるICT活用の在り方」について、有意義な実践発表がありました。

現在、特別支援教育課で研究している「障害の状態に応じた自立活動の指導の在り方」については、来年度発表させていただきます。自立活動の指導について、指導計画の作成から評価までのプロセスがわかるように示せればと考えています。小中学校の特別支援学級や通級指導教室の先生方だけでなく、特別支援学校、高等学校の先生方にも参考にしていただけるものを目指しています。是非とも、多くの先生方に参加していただければ幸いです。



【ICT活用の実践発表より】